



1999年度岩見沢校フレンドシップ事業

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-07-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 前田, 賢次 メールアドレス: 所属:
URL	https://hokkyodai.repo.nii.ac.jp/records/9292

1999年度 岩見沢校フレンドシップ事業

1 事業の理念と目的

フレンドシップ事業とは文部省の「教員養成学部フレンドシップ事業等促進経費」の助成を受け、「教員養成大学・学部と地方教育委員会などが協力して自然学習、宿泊学習、また実験室などの機会を機会をつくり、教職を目指す学生が児童生徒とふれ合いながら種々の体験活動などを行うことを通じて子どもを理解し、実践的指導力の基礎を涵養することを目的とするもの」である。

2 経過

本校では、過去4年間、事業のための特定の講義を新たに開設せず、学校教員養成に関わる講義の中から事業への参加を複数募り、協力関係機関との調整等を経て、同事業の企画運営協議会を設置し事務局体制を整え実施している。本年度は事業目的である教員としての「実践的指導力」形成に重点を置きながら、参加募集⇒企画運営協議会⇒各企画の実施⇒シンポジウムによる報告会⇒報告書発刊の順に進められた。

3 企画の概要

詳細は3月発行予定の報告書に譲り、ここではその概要（以下の一覧表）を示すに止める。

	実施講義 科 目	大 学		諸施設等		関係協力諸機関
		学生	教官	児童生徒	教職員	
「つくって遊ぼう —七夕かざりつくりと 読み聞かせ—」	生 活 科 教材研究C	38	2	99	12	岩見沢市教育委員会、岩見沢市美園・春日・ 中央児童館、学童保育所大空クラブ、豊か な子ども時代を創る会
「劇つくり体験活動 —生徒指導を学ぶ—」	教 育 哲 学 演 習	13	1	125		三笠市教育委員会、三笠市立三笠中学校
「学校林を見に行こう」	地 理 学 概 論	70	1	18	7	新十津川町教育委員会、新十津川町立吉野 小学校、北海道庁林務課、同林業試験場
「地層を調べよう」	総 合 演 習	21	1	26	2	岩見沢市教育委員会、岩見沢市郷土科学館
「野鳥の給餌台と木の葉 のコースターづくり」	総 合 演 習	14	1	24	5	岩見沢市教育委員会、岩見沢市郷土科学館、 岩見沢市野鳥の会

4 成果と課題

2月、各事業の報告と今後の同事業運営について協議するために、シンポジウムを開催した。全ての企画にわたって関係諸機関・施設等からも出席いただき、活発な意見が交わされた。そこでは、従来の「施設にとっても大学にとっても・子ども達にとっても大学生にとっても、何らかの良い体験となった」という総括の仕方を乗り越え、それぞれの活動の中で、子どもや大学生にどのような力がついたのか、あるいはつかなかったのか具体的に検討された。一方で、①大学と施設・諸機関との目的と意図のずれの摺り合わせ、同様に②スケジュールや地理的条件など、制約される諸条件の摺り合わせ、③大学の教育課程全体からのフレンドシップ事業の位置づけの明確化と提示、④事前指導を含めた学生の意欲と態度形成への手だての必要性などについて議論された。

しかし、意見はいずれも、それぞれの問題点を今年度の反省から総括し、次年度への架け橋としたいという前向きなものばかりであり、学外の関係者やシンポジウムに参加した学生からも、事業のさらなる継続と発展を希望するという点で一致していたことを付け加えておく。

フレンドシップ事業の全体像、各企画の実際、シンポジウムでの議論等についての詳細は3月発行予定の報告書をご覧ください。

(文責・フレンドシップ事業企画運営協議会代表 前田 賢次)